

2013 年度第 6 回(通算第 9 回)理事会 (臨時)

1. 日時：2014 年 3 月 2 日 (日) 13 時～17 時 15 分

2. 場所：専修大学神田校舎 7 号館 772 号教室

3. 出席者：(出席理事) 岩澤雄司、兼原敦子、吉川元、坂元茂樹、佐野寛、道垣内正人、古谷修一、森川幸一、(代表理事) 薬師寺公夫、(出席監事) 野村美明

4. 議事の内容

1) 報告事項

1 理事選出のための意向調査アンケートに関する件

2014 年 10 月 12 日から 14 日開催の研究大会に併せて実施された「次期理事の選任に係る意見聴取」の結果報告書が回覧された。薬師寺代表理事より、今後の理事選出のスケジュールが報告された。さらに坂元事務局長から、評議員会の柳原会長と田中副会長に上記結果の報告がなされた旨の説明がなされた。

2 司法試験科目における選択科目制度存続を求める意見書に関する件

2013 年度第 3 回理事会で議決された表記意見書を理事会名で法曹養成制度改革顧問会議および自由民主党司法制度調査会宛に提出した旨、薬師寺代表理事より報告がなされた。

3 一般財団法人国際法学会公印規程改正に関する件

2013 年度第 3 回理事会で議決された一般財団法人国際法学会公印規程の改正により、新たに大会運営用の公印を作成し、大会運営委員長が管理する旨、薬師寺代表理事より報告がなされた。

4 アウトリーチ委員会による市民講座に関する件

東京大学山上会館で開催された宇宙市民講座の結果について、中谷先生から書面による報告がなされた。

5 会員名簿に関する件

会員委員会から、ニューズレターと共に、会員名簿情報の確認と電子メールを利用した情報提供の許諾に関する照会を送付されていることが、薬師寺代表理事より説明された。回収された会員情報による名簿の修正が終わった段階で、会員名簿を作成するとの会員委員会の見解が報告された。坂元事務局長から、ホームページ委員会が HP におけるニューズレターの取り扱いについて検討中である旨の報告がなされた。

6 エキスパート・コメントに関する件

薬師寺代表理事から、2 本のエキスパート・コメントについて HP に掲載されている旨の報告がなされると共に、小畑委員長名でエキスパート・コメントをお読みいただく方への注意点やコメント作成の際の留意点などについて補足説明が行われた。また、今後は、国際私法や国際政治の分野にも広げたい旨の説明がなされた。

7 小田滋賞選考委員に関する件

佐野国際関係法教育委員長より、小田賞の選考過程についての報告がなされ、応募総数は 17 件 (国際法 12 件、国際私法 1 件、国際政治・外交史 4 件) であったこと、予備審査

については、内規に従って、選考委員会で審査していただいている旨の報告がなされた。

2) 審議事項

第1号議案 2014年度第1回(第5回)評議員会(臨時)招集に関する件

薬師寺代表理事から、定款第20条1項に基づき、次期(第2期)理事の選任を目的とした評議員会を下記日程で開催したい旨の説明がなされ、議決された。

[議決事項]

2014年度第1回評議員会を以下の通り開催する。

開催日時：2014年4月13日(日)13時より

場 所：アルカディア市ヶ谷

議 題：次期理事の選任の件

報 告：2014年度の収支予算案および事業活動の近況

第2号議案 一般財団法人国際法学会年次研究大会(第117年次)に関する件

古谷研究大会運営委員長から、年次研究大会の会場および割り付けについて、資料に基づいて提案がなされた。次に森川研究企画委員長から、第117年次研究大会のプログラムについて資料に基づいて提案がなされた。議論の上、提案通り議決された。

第3号議案 一般財団法人国際法学会年次研究大会(第118年次)の会場に関する件

古谷研究大会委員長から、2015年度(第118年次)の研究大会の会場について提案が行われ、2015年度(第118年次)研究大会の会場を名古屋国際会議場とすることが議決された。

第4号議案 予算に関する件

道垣内会計部長から、2014年度の収支暫定予算について報告がなされた。審議の結果、提案された2014年度収支暫定予算案について、役員選任手続費50万円を20万円に変更し、研究企画調整連絡費5万円を15万円に変更した上で、2014年度収支暫定予算及び小田基金2014年度収支予算が議決された。

第5号議案 国際法外交雑誌の編集に関する件

浅田雑誌編集委員長から提出された資料に基づき、坂元事務局長から雑誌編集の状況について説明がなされた。第113巻2号までは現委員会の作業とし、第3号以降が新委員会の作業となる旨の補足説明が薬師寺代表理事からなされた、雑誌編集委員会の国際法外交雑誌第113巻の編集方針が議決された。

坂元事務局長から、『国際法外交雑誌』掲載論文の公開許可に関する申し合わせ事項に関する件につき、掲載論文を執筆者の所属大学が管理するリポジトリに登録して公開することを申し出た場合の問題点が指摘され、『国際法外交雑誌』掲載論文の公開許可に関する申し合わせの改正を議決した。

第6号議案 四学会国際法会議に関する件

岩澤国際交流委員長から、日中韓の交流については現在中断状態にあること、および四学会第5回大会について提案された。議論の上、四学会国際法会議に国際法学会を代表し

て岩澤国際交流委員長を派遣すること（派遣費用として野村基金からの助成）及び提案が議決された。

第7号議案 小田滋賞に関する件

第1回小田滋賞に関して、薬師寺代表理事から、資料に基づき、標記について説明がなされ、選考委員を村瀬信也会委員（国際法）、櫻田嘉章会員（国際私法）、山本吉宣会員（国際政治・外交史）以上3名に委嘱する旨、選考スケジュール、授賞式ならびに広報について、議決された。

第8号議案 2014年度アジアカップ模擬裁判に関する件

植木若手研究者育成委員長が作成した資料に基づき、薬師寺代表理事から2014年度アジアカップ模擬裁判に対する国際法学会の協力のあり方について議論した。植木若手研究者育成委員長に、外務省に2014年度アジアカップ模擬裁判実施確認を依頼する旨議決した。

第9号議案 新入会員の承認に関する件

坂元事務局長より、以下の5名（一般会員1名、院生会員4名）の入会を認めることが提案され、議決された。

中澤祐香 小栗寛史 山野翔太 西村邦行 張詩昇

新入会員ならびに特別会員および復帰会員に加え、ご逝去会員（、退会希望会員3名を踏まえた結果、会員総数は、941名（一般会員808名、名誉45名、院生82名、特別3名、終身3名）となる。

第10号議案 文生書院に委託している『国際法外交雑誌』の在庫および総目次の取り扱いについて

薬師寺代表理事から、標記について報告があり、①文生書院に、国際法外交雑誌の総目次を150部程度の残部を残して、裁断処理してもらうよう依頼する、②廉価での販売を学会員に告知するが、販売の詳細については文生書院と協議して決定する、ことが議決された。